



北ま道発第 33 号
平成19年4月25日

国土交通省道路局長 様

北本市長 石津賢治



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出

平成19年4月2日国道企第114号で依頼のあった「中期的な計画の作成にあたっての意見の提出」については別紙のとおり回答します。

別紙

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1) 地域の活性化を図る幹線道路の整備

当市においては平成24年度供用目標の圏央道および上尾道路が計画されています。交通アクセスの向上により企業の誘致を図り、地域を活性化させることが必要と考えています。

2) 効果的、効率的な道路ネットワークの構築

1) の幹線道路へのアクセスの向上を図るとともに、効果的、効果的な道路ネットワークを構築することにより、道路交通の円滑化はもとより、沿線都市間との連絡を強化し、地域づくりの支援や災害時の輸送路等の役割を担えるような都市計画道路の整備が必要と考えます。

3) 生活道路の整備

快適な生活環境を創出するため、市道の改良、舗装、側溝等の整備を計画的に推進する必要があると考えます。

4) 通学路の整備

近年、交通量の増加により幹線道路の渋滞を避け、通学路にも車両が流入しています。道路網の整備により生活道路に通過交通を流入させない対策が必要であるが、緊急対策として児童、生徒の登下校時の安全を確保するため、歩道や路面表示等の交通安全施設の緊急な整備が必要と考えます。

5) 電線類地中化事業の推進

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

整備の必要性、プライオリティを明らかにし、計画的に道路整備を進めることが重要であると考えます。